



滝野南小学校便り

平成30年5月7日

土づくりから種蒔きへ

ゴールデンウィークもあっという間に終わり、初夏を感じさせる季節となりました。子どもたちにとっての学校・学級生活は、種蒔きの時期を迎えました。それぞれの学級においては、4月から引き続いて、担任と子ども一人ひとりとの信頼関係の構築に努めていきたいと考えています。

4月のある日の朝、ある子どもからお手紙をもらいました。

「校長先生、いつもまつ田商店の所で立ってくださってありがとうございます。ニコニコで大きな声であいさつしてもらっているので、とても心づよいです。・・・」この手紙を読んだとき、大変嬉しかったことはもちろんのこと、こんなことを思っているんだという、その子への認識を新たにしました。

私たち教職員は、多くの子どもたちと関わりながら、驚きや喜び、時には歯がゆさを覚えたりしながら、そんな中で、子どもを多面的に見ていくことに努めます。そして、一人の職員の見方だけでなく、多くの職員の見方が重なって、子どもを深くわかろうとします。と、口で言うのは簡単ですが、なかなか難しい営みです。しかし、私は、教育の世界がどんなに変わろうとも、「子ども理解」は不易の部分でとても大切なことであると思っています。いろいろな教育活動を通して、子どもの小さな育ちの芽を大事にしていきたいと思います。



朝のサーキットが始まりました。

■新学習指導要領実施に向けて

皆様もご承知のように、平成32年度（2020年度）4月から新学習指導要領による学習が始まります。そこで、どのように子どもたちの学習が変わっていくのかということをお伝えしたいと思います。

まず、新学習指導要領では、子どもたちに育てる資質・能力を「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力・人間性等」の3つの柱に整理して育てていきます。学び方についても、子どもたちが「何を学ぶか」ということだけではなく、学んだことを生かして「何ができるようになるかということ」を重視しています。そこで、「学んだことを活用して考える場面」や「自分の学びの様子を自覚して、自分で学びを振り返る場面」をこれまでと同じく、意図的に取り入れ、子どもの学びをより確かなものになるようにしていくことが大切であると考えています。

道徳教育の充実のため、道徳の時間が「特別の教科 道徳」となり、新しい教科とし

て、4月から実施しています。授業時数はこれまでと変わりませんが、教科書を使用して学習します。授業では、道徳的価値を自分事として理解し、深く考えることができるよう、学級での話し合いの中で、自分の意見を積極的に出し合って工夫を図っていきます。

また、外国語教育の充実として、平成32年度からは、5、6年で「外国語科」が、3、4年で今まで高学年で行ってきた「外国語活動」を学習します。そこで、本年度から、3、4年でも「外国語活動」を始めていきます。

新学習指導要領による新しい学習のことを幾つか述べましたが、本校が今まで培ってきたこれまでの学習の成果を生かしながら、新しい学習内容や活動を取り入れ、意義ある教育活動を行っていきたくて考えています。



ALTとの外国語の学習も始まりました。

■春の遠足（1年生歓迎遠足）がありました



延期になった遠足でしたが、晴天にめぐまれ、楽しい時間を過ごすことができました。1年生歓迎集会では、児童会の子どもたちが、ゲームを進行し、全校生を楽しませてくれました。午後からの縦割り班遊びでは、6年生が中心になって進め、どの班も楽しく過ごすことができました。児童会のみんな、6年生のみんな、ありがとう。これからも南小をリードして行ってください。

■お願い（お知らせ）

子どものためにより教育を実現するためには、教職員が、心身ともに健康で充実した毎日を送ることが必要です。

そこで、兵庫県教育委員会及び加東市教育委員会では、教職員のワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の実現に向け、市内すべての学校で、週1回以上の「教職員定時退勤日」の実施を推進しています。本校では、毎週木曜日を「教職員定時退勤日」と決めて、遅くとも午後6時には全教職員が退勤することとしています。

また、今年度から、加東市立の全小中学校で、お盆の期間の平日（8/13～15）を「学校閉校日」とします。（緊急時は加東市教育委員会が窓口となり対応します。）

今年度も教職員が精神的なゆとりを持って、一人一人の子どもに向き合うことができる環境づくりを進め、本校教育活動の一層の充実を図ってまいります。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。